

議決権行使レポート

証券コード 7596

会社名 魚力

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役6名選任			
山田 雅之 氏	○		
黒川 隆英 氏	○		
山田 虎生 氏	○		
岩崎 哲也 氏	○		
新藤 えりな 氏	○		
長谷部 元靖 氏	○		
第2号議案 監査役3名選任			
根岸 功生 氏	○		
荒木 哲郎 氏	○		
中村 隆徳 氏	○		

上記の推奨をした理由

○第1号議案

山田雅之氏はアメリカにおける子会社の取締役社長に就き業務拡大を達成しており、経営者として豊かな経験と仕入業務に関する知識を魚力においても活かすことができると考えられる。

黒川隆英氏は鮮魚流通業界の深い見識があり、グループ全体の経営体制や事業拡大・人材育成に大いに貢献している。今期においても同氏の高い能力や豊富な経験が経営に反映されることが見込まれる。

山田虎生氏は株式会社日本長期信用銀行での経験や株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ取締役常務執行役員としての経験など、金融や財務に関して専門的な知識と経営者としての経験を有している。同氏は魚力においても経営計画や成長戦略において貢献しており、同氏の能力が今後の経営に活用されることが期待できる。

岩崎哲也氏は公認会計士かつ税理士としての専門的な見識を有しており、取締役会の適正性確保のため選任されている。

新藤えりな氏は唯一の女性取締役候補者として、取締役会に女性ならではの観点を提供することが期待される。また、同氏の弁護士としての客観的立場や専門知識による取締役会の適正性確保が見込まれる。

長谷部元靖氏はスターゼン株式会社取締役などの経験から精肉やファストフード事業に精通しており、同氏による魚力の経営への助言が期待される。

6名とも前年度以前から取締役に就任しており、再任議案となる。したがって業績や株主還元を考慮して是非を問う。魚力のROEは2020年度、2021年度、2022年度の順に5.83%、6.24%、4.92%であり、2023年度の総還元性向は83.4%、当期純利益は約8億円である。過去数年のうちに大きな業績悪化はなく、この点で再任における問題はない。

また、岩崎哲也氏、新藤えりな氏及び長谷部元靖氏は社外取締役候補者である。魚力における社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもってそれぞれ8年、3年、1年である。経歴の面で3名の独立性は十分であり、いずれの候補者も就事業年度かつ就任以降に開催された取締役会に全て出席している。

取締役会のうち社外取締役が取締役総数の半数を占めている。国籍や年齢層は偏りがあるものの、女性も含まれていることと専門分野や在任期間のバランスが取れていることから取締役会の実効性に問題はない。

以上より、取締役候補者6名の選任に賛成する。

○第2号議案

根岸功生氏は公認会計士かつ税理士として専門知識があり、ウインテスト株式会社やイーター電機工業株式会社での社外監査役としての経験が魚力で活用されることが期待できる。

荒木哲郎氏は弁護士かつ税理士としての専門知識と企業経営について見識を有しており、社外監査役の業務を十分に果たせると考えられる。

根岸功生氏と荒木哲郎氏は再任の候補者である。2名とも就任から10年以下であり、経歴から過去に魚力の系列会社や大株主・取引先などとの関係は見受けられず、社外監査役としての独立性はあるといえる。したがって以上2名の監査役選任に賛成する。

中村隆徳氏は約30年にわたって警視庁に在籍しており、その後株式会社弥生共済会常務取締役に就任したが、魚力との利害関係は見られず、独立性は十分である。また警視庁での経験や幅広い知識が監査役として有効に活用されることが期待される。よって中村隆徳氏の監査役選任に賛成する。